

まえがき

多様な世界を共に生きる

本書は初めてドイツ語を学ぶ人を対象とした初級ドイツ語文法の教科書です。コンパクトに、かつテンポよく学習できるよう、日本人学習者が最初に学ぶべき項目を、ドイツ語の使用実態に即して選定しました。主に大学や高校の授業で使用されることを想定し、授業時間数に対応した12課で構成してあります。本書の全体的なコンセプトは次のようにまとめることができます。

- 端折らない——ドイツ語の初級文法を一通り網羅する。
- 詰めすぎない——初学者の多様な関心とレベルに対応する。
- 誤魔化さない——本格的なドイツ語学習への確かな基礎を築く。
- 理解する——ポイントとなる項目は必ず練習で繰り返す。

日本人がドイツ語を深く勉強しようとする時、どうしても日本語との違いに踏み込むこととなります。本書では、それを異文化理解へつながる第一歩であると捉え、各課に設けたコラムを通して、異質なものを理解するヒント（のようなもの）を示しました。

異質なものに出会ったとき、私たちは得てしてその現実から目をそむけたり、世界を必要以上に単純化しようとする場合があります。ある種の逃避行動と言えるかもしれません。しかし、私たちは、できれば世界の様相をこの目でしっかりと捉えたい——そう考えたとき、私たちが進むべき道は、多様なものを多様なものとして、複雑なものを複雑なものとして見る力、受け入れる力を身につけていくことではないでしょうか。ドイツ語の学習が新しい世界への扉となることを祈っています。

本書の作成にあたっては、企画の段階から朝日出版社の藤野昭雄さんの助言をいただきました。またドイツ語の校閲では Julia Hallensleben さん、Elena Adaschewski さん、Wolfgang Höcht さんにご協力いただきました。この場を借りてお礼申し上げます。Danke!

著者